

「第2回 薬剤師の在宅医療介入を考える会」のご案内

謹啓 皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、12/2（土）に岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会飛騨ブロック、岐阜県居宅介護支援協議会、高山市薬剤師会、下呂市薬剤師会、飛騨市薬剤師会、岐阜県病院薬剤師会の共催で「第2回薬剤師の在宅医療介入を考える会」を開催する運びとなりました。「第1回薬剤師の在宅医療介入を考える会」を本年1月に開催致しましたが、その後、約1年間が経過した今、飛騨医療圏における進捗状況や問題点を皆様と再確認させていただきたいと考えております。

国策として地域包括ケアシステムを構築し在宅医療を推し進めていくなかで薬剤師による在宅業務への積極的な介入が期待されていますが、職種間の障壁を無くし前へ進むべく、医師、看護師、ケアマネージャー、行政関係者、保険薬局薬剤師、病院薬剤師がそれぞれの立場から現状を報告し、膝を付け合わせ討論する場も企画致しました。

ご多用とは存じますが、是非ご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：平成29年12月2日（土）14:00～17:15（受付13:10より）

場 所：高山市民文化会館 3階 講堂

住所：岐阜県高山市昭和町1丁目188-1 TEL：0577-33-8333

募集人数：100名を予定

参加費：無料

※ただし、薬剤師のみ単位取得研修のため、会員：500円、非会員：2,000円

総司会 高山市薬剤師会 副会長 鈴木 敏文 先生

座長 須田病院 認知症疾患医療センター センター長 垣内 無一 先生

【一般演題】 14:00～15:30

演題① 「病院薬剤師からみた在宅医療連携の現状と課題」

岐阜県病院薬剤師会 飛騨ブロック会長 定岡 邦夫 先生

演題② 「薬剤師のチーム医療介護連携」

貴船薬局 薬剤師 山口 大和 先生

演題③ 「事例報告 ―在宅介入の実際―」

ゆう薬局 薬剤師 中田 裕介 先生

演題④ 「薬剤師の介入によりサービスに繋がったケース」

須田病院居宅支援事業所 管理者 野中 康代 先生

演題⑤ 「保険薬局薬剤師と訪問看護の連携による効果と課題」

ひだ訪問看護ステーション 主任看護師 山本 裕子 先生

演題⑥ 「精神科訪問看護における薬剤管理の現状と薬剤師への期待」

須田病院訪問看護ステーション 管理者 松葉 久子 先生

【多職種による総合討論：ワールドカフェ方式にて】 15:45～17:15

ファシリテーター 須田病院 精神科医長 益田 大輔 先生

テーマ 「地域医療に根ざす薬剤師と連携体制を広げていくには？」

閉会の辞 高山市薬剤師会 会長 伊藤 松壽 先生

共 催：岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会飛騨ブロック、岐阜県居宅介護支援協議会
高山市薬剤師会、下呂市薬剤師会、飛騨市薬剤師会、岐阜県病院薬剤師会、
明治乳業（株）、アルフレッサ（株）

以上

第2回 薬剤師の在宅医療介入を考える会

ー地域医療に根ざす薬剤師と連携体制を広げていくにはー

【日 時】 平成29年 **12月2日(土)** **14**時00分～17時15分

【場 所】 **高山市民文化会館 3階 講堂**

高山市昭和町1丁目188-1 TEL 0577-33-8333

【参加費】 **無料**

※ ただし、薬剤師のみ単位取得研修のため会員:500円、非会員:2,000円

【お問い合わせ】 須田病院 薬剤部 定岡邦夫 TEL 0577-72-2100

総合司会 高山市薬剤師会 副会長 **鈴木 敏文 先生**

座長 須田病院 認知症疾患医療センター センター長 **垣内 無一 先生**

演題 ① (14:00～14:15)

「 病院薬剤師からみた在宅医療連携の現状と課題 」

岐阜県病院薬剤師会 飛騨ブロック会長

定岡 邦夫 先生

演題 ② (14:15～14:30)

「 薬剤師のチーム医療介護連携 」

貴船薬局 薬剤師

山口 大和 先生

演題 ③ (14:30～14:45)

「 事例報告 ー在宅介入の実際ー(仮) 」

ゆう薬局 薬剤師

中田 裕介 先生

演題 ④ (14:45～15:00)

「 薬局薬剤師との連携と課題(仮) 」

須田病院居宅支援事業所 管理者

野中 康代 先生

演題 ⑤ (15:00～15:15)

「 保険薬局薬剤師と訪問看護の連携による効果と課題 」

ひだ訪問看護ステーション 主任看護師

山本 裕子 先生

演題 ⑥ (15:15～15:30)

「 精神科訪問看護における薬剤管理の現状と薬剤師への期待 」

須田病院訪問看護ステーション 管理者

松葉 久子先生

◆休憩 (15:30～15:45)

多職種による総合討論:ワールドカフェ方式(15:45～17:15)

ファシリテーター

須田病院 精神科医長

益田 大輔 先生

【テーマ】

「地域医療に根ざす薬剤師と連携体制を広げていくには？」

閉会の辞

高山市薬剤師会 会長

伊藤 松壽 先生

共催 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会飛騨ブロック, 岐阜県居宅介護支援協議会, 岐阜県病院薬剤師会
高山市薬剤師会, 下呂市薬剤師会, 飛騨市薬剤師会, 明治乳業(株), アルフレッサ(株)

単位 日本病院薬学認定薬剤師制度:一般演題(Ⅲ-2) 1単位, 総合討論(Ⅲ-2) 1単位(申請中),

日本薬剤師研修センター研修制度:2単位

IPAI研修コード:

第2回 薬剤師の在宅医療介入を考える会 参加申込書

ご施設名：

ご芳名記載欄

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

申し込み方法 : FAXにて受付

申し込み期限 : 平成29年**11月24日(金)**午後**1時まで**

お申し込み先 : 須田病院 薬剤部

F A X : 0577-72-4231

担当者 : 定岡 邦夫